

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 28 年 10 月 20 日現在

機関番号：14503

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2012～2015

課題番号：24320040

研究課題名(和文) 中東・北アフリカ地域における音文化の越境と変容に関する民族音楽学的研究

研究課題名(英文) A Study of sound culture and music in Middle East and North Africa

## 研究代表者

水野 信男 (Mizuno, Nobuo)

兵庫教育大学・その他部局等・名誉教授

研究者番号：50032511

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,300,000円

研究成果の概要(和文)：本科研の研究代表者および研究分担者は、その全員が、本科研・研究期間内に、主に中東諸国(エジプト、モロッコ、イラン、トルコ等)およびフランス(パリ、アラブ世界研究所)において、フィールドワーク、ならびに資料収集をおこなった。そこで得られた研究成果を、他に5名の研究協力者の参加を得て、国内で独自に開催した研究会で発表し、あわせて討議を実施した。その結果を、研究成果論文集『中東世界の音楽文化 ―うまれかわる伝統』として、2016年夏までに出版することがきまった。研究成果論文集はB5版、約400ページ。現在、初校をへて、再校にむけて、鋭意編集集中である。

研究成果の概要(英文)：We will publish the collected papers on our studies. The title of the book is "Music Culture of Middle East – a fresh start of the tradition." (400pp. editors: Nobuo Mizuno & Tetsuo Nishio. 11 authors.) The book will be published in August, 2016. We obtained a research grant to this book from the National Museum of Ethnology.

研究分野：民族音楽学

キーワード：中東 音文化 音楽文化 境界性 アラブ 楽器 マグリブ フィールドワーク

1. 研究開始当初の背景

わが国では、ごく近年まで、中東文化圏の音文化に関する研究が皆無の状態だった。音文化とは、たんに音楽にとどまることなく、生活のなかの音現象全般が、かもしだす、人間文化のひとつである。とくにイスラーム圏では、音文化として、「祈りの呼びかけ」(アザーン)、コーラン朗唱、イスラーム神秘主義の歌と音楽などが注目される。芸術的な音楽もふくめ、このような音を主体とする文化の一面を、「音文化」として総合的にとらえ、分析することが、本研究の主たる目的である。

2. 研究の目的

中東(北アフリカを含む)地域は、おおかたイスラーム文化圏からなるが、そこには、他にキリスト教東方教会や、ユダヤ教を信じる人びとも、ともに暮らしている。

その一方で、湾岸からメソポタミアを経て、地中海南岸(北アフリカ)にかけてひろがる、広大なアラブ諸国は、歴史的に、その根源において、イランやトルコと相互交渉がつづいた。たとえば、音文化の中核をなす楽器をとりあげても、それらは、古代エジプトにさかのぼるが、他方で、古代イランもそのルーツの一端をになっているし、中世以降のオスマン帝国(トルコ)は、それらの楽器を、民族の好みにあわせて、独自に有効に展開した。

本研究では、このような中東・北アフリカにおける音文化に関して、とくに「越境」と「変容」という視点を議論のてがかりにして、研究を遂行する。

3. 研究の方法

フィールドワーク

研究の中心を、中東諸国のフィールドワーク(現地研究)におく。

現在、とくにアラブ諸国など、政治的混乱もあって、フィールドワークは困難をきわめるが、そのような状況のなかで、最善をつくして、研究を実施する。

おもな調査地域：エジプト、モロッコ、チュニジア、イラン、トルコ。

それぞれの国の調査地点は、研究代表者、研究分担者の専門によってきめる。

資料研究

中東世界の音文化のうち、とくに音楽に関しては、アラブ中世のアラビア語の文献資料が数おおく存在する。このような研究資料を、とくにフランス、パリのアラブ世界研究所を拠点に、収集し、解読する。

研究期間中、国内において、研究代表者、研究分担者、研究協力者合同の研究会を催し、討議を重ね、最終的に研

究成果論文集にもっていく。なお、研究会では、参加者が、フィールドワークを中心に得られた成果を報告しあい、あわせてラウンドテーブルを開き、意見を交換し、討議を重ねる。

4. 研究成果

研究成果論文集『中東世界の音楽文化 うまれかわる伝統』を刊行する。

研究成果論文集のおもな内容：

伝統を繋ぐ 大衆音楽という公共空間

1 歌に読み込まれた「千夜一夜」 ウナム・クルスームのレパートリーにみる(水野信男=研究代表者)

2 イランにおける「ポピュラー」音楽の変遷(椿原敦子=研究協力者)

3 ベリーダンスは何を表現しようとしているのか? 舞踊における意味の深みへ(西尾哲夫=研究分担者) 伝統を継ぐ 共鳴する個性

4 サントウールの演奏の新しい身体性 「楽器盤面の地政学」へ向けて(谷正人=研究分担者)

5 東アラブ地域における“古典器楽”の成立 音楽家サーミー・アッシュワワーの功績(酒井絵美=研究協力者) 伝統を紡ぐ

6 パリで故郷の歌を聴く モロッコ・スース地方出身の人びと(堀内正樹=研究分担者)

7 魅惑の反復 あるベルベル吟遊詩人の曲を巡って(小田淳一=研究分担者)

伝統を創る 民族音楽学という空間

8 小泉文夫が伝えた中東の音楽(斎藤完=研究分担者)

9 チュニジア「ランディーヤ」伝統音楽研究所 歴史と現在(松田嘉子=研究協力者)

10 中東少数派の自己認識 あるシリア正教徒の音楽史観と名称問題(飯野りさ=研究協力者)

このほか、

本書を理解するための序章(水野信男)

資料 国民国家の中の伝統音楽 オマーンの事例から(樋口美治=研究協力者)

2回にわたって、開かれたラウンドテーブル「交錯する芸術 中東と西洋」(公開)の全記録

などを収載した。

本研究成果論文集は、B5版、約400ページ2016年8月刊行の予定である。出版社はスタイルノート。

なお、本研究は、国立民族学博物館出版委員会の厳密なる内部査読および外部査読を受け、あわせて、国立民族学博物館からの助成(館外での出版を奨励する制度による)を受

けた。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 2件)

小田淳一「二言語併用者における語彙レベルの干渉現象」(2015 CD-ROM 査読有)

小田淳一「音楽番組の映像表現におけるカット割りの規範と偏差について」『人工知能学会第2種研究会資料集』2015

[学会発表](計 3件)

西尾哲夫「アラブ世界の言語社会的位相と個人空間の再世界化」(2015.10.18 国立民族学博物館共同研究会)

西尾哲夫「アラビアンナイトは民衆文学か?」(2016.2.27 人間文化研究機構 国際シンポジウム 於、国立民族学博物館)

谷正人「伝統楽器サントウールの新型調律システムについて」(2016.3.27 第35回イラン研究会 於、大阪大学会館会議室)

[図書](計 6件)

水野信男・西尾哲夫編著『アラブの音文化 グローバル・コミュニケーションへのいざない』  
2010年 スタイルノート(東洋音楽学会田邊賞受賞)

堀内正樹・西尾哲夫編著『断と続の中東 非境界の世界をおよぐ』2015 悠書館

水野信男・西尾哲夫編著『中東世界の音楽文化 うまれかわる伝統』2016(予定)スタイルノート

西尾哲夫『言葉から文化を読む アラビアンナイトの言語世界』2015 212p 臨川書店

谷正人共著『民族音楽学12の視点』2016 192p 音楽之社

小田淳一共著『モーリシャスのボージブリ一語民話』(2016 xxiv+138p) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：

出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

[その他]  
ホームページ等

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

水野信男(MIZUNO, Nobuo)  
兵庫教育大学・学校教育研究科・  
名誉教授  
研究者番号：50032511

##### (2) 研究分担者

堀内正樹(HORIUCHI, Masaki)  
成蹊大学・文学部・教授  
研究者番号：10209281

小田淳一(ODA, Junichi)  
東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・教授  
研究者番号：10177230

西尾哲夫(NISHIO, Tetsuo)  
人間文化研究機構国立民族学博物館・  
研究戦略センター・教授  
研究者番号：90221473

齋藤完(SAITO, Mituru)  
山口大学・教育学部・准教授  
研究者番号：10403635

谷正人(TANI, Masato)  
神戸大学・人間発達環境学研究所・准教授  
研究者番号：20449622

##### (3) 連携研究者

( )  
研究者番号：

##### (4) 研究協力者

飯野りさ(IINO, Risa)  
日本学術振興会特別研究員(PD)  
研究者番号(80758756)

酒井絵美(SAKAI, Emi)  
東京芸術大学演奏芸術センター助手

樋口美治 (HIGUCHI, Yoshiharu)  
元オマーン伝統音楽センター研究員

松田嘉子 (MATSUDA, Yoshiko)  
武蔵野美術大学教授

椿原敦子 (TSUBAKIHARA, Atsuko)  
龍谷大学社会学部専任講師